

誰でも野球ができる

ユニバーサル野球のご提案



堀江車輛電装株式会社



野球少年の夢。

【Story】

2017年、特別支援学校小学部に通う野球好きの少年との出会いが、ユニバーサル野球を作ろうと思うきっかけでした。

堀江車輛電装株式会社 障がい者支援事業部 スポーツ推進課は、車いすテニス体験教室など、様々なスポーツを通して、障がい者の方々に身体を動かす場を提供しています。

「誰でも参加できる、みんなが一緒に遊べる野球を作ってみよう。」
そんな思いから、試行錯誤の末、体を1cm動かすことができればスイングできるバットを試作。
特別支援学校の子もたちに試してもらいながら改良を重ね、
ボールは投げずに、ホームベースに置いたターンテーブルで回してそれを打つ仕組みにしました。
開発に参加した子どもたちから「野球がやりたい!」「野球大好き」というビデオレターをもらい、
彼らに実際の野球を少しでも感じてもらうために20分の1の野球場を作りはじめました。
2019年、試作の野球盤を作り、特別支援学校の子もたちと試合を開催。
ウグイス嬢が選手の名前を呼びバッターボックスへ入る。
スタンドからは応援ソングとともに「かっとばせー」の声援!
生まれて初めて野球を体験した彼らの笑顔は参加者の心に残りました。

2020年の大会開催を目指す事となり、名前は「ユニバーサル野球」に決定。
球場もバージョン3となり、6月より新事業としてスタートしました。

企業ではダイバーシティ研修、社会貢献活動として。
自治体、行政などの方には地域のイベントや健康プログラムなど。
学校・教育現場においては体育だけではなく、道徳や総合的な学習の時間など
ユニバーサル野球をより多くの人に体験していただきたいと思っています。

堀江車輛電装株式会社

【プロジェクトは始まりました】

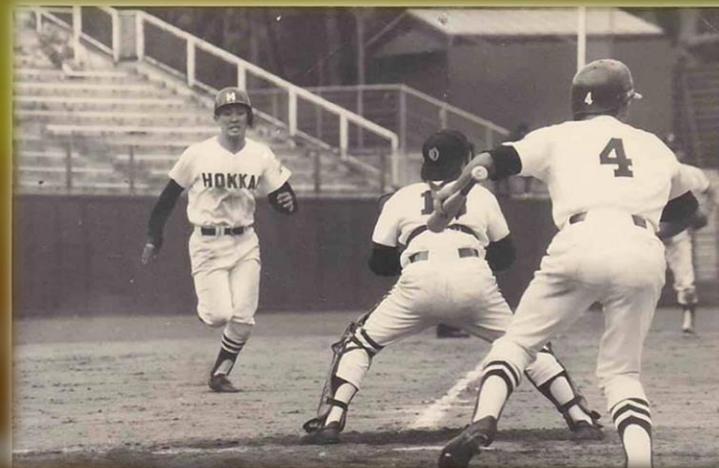
少年との出会い



確信



野球への情熱



挑戦



試行錯誤



ユニバーサル野球とは？

堀江車輻電装株式会社が開発した、障がいのある人もない人も平等に戦うことのできる野球競技。野球盤を10倍まで大きくしたユニバーサルスタジアムは少しの力で誰でもスイングできます。約10～45秒で1周する回転台を活用したボール台。直径約10cmの金属ボールなど、独自のアイデアと技術により構成されています。



少しの力でも
フルスイング
できます

車いすで
バッター
ボックスに
入れる

障がいの
有無に
関わらず
楽しめる

2019/5/29 毎日ホール
「誰でも野球が楽しめる『ユニバーサル野球』開発報告会&体験会」
毎日メディアカフェ

<http://mainichimediacafe.jp/eventarc/2430/>

朝日新聞デジタル
https://www.asahi.com/and_M/pressrelease/pre_2759416/

ユニバーサルスタジアムとは？

約10～45秒で1周する回転台を活用したボール台。直径10cmの金属ボールなど、独自のアイデアと技術により構成されています。



制作協力：今野梱包株式会社

ユニバーサルスタジアムスペック

サイズ：5.2m×5.2m

材質：強化ダンボール

分解してバンに収納可能。軽量なのでイベントの搬入・搬出時も最小限の人員で可能です。

フィールドは芝生や土はもちろん、ベースボールプレイヤーのイラストが鮮やかに印刷されています。

また電光掲示板の演出は臨場感アップ。審判や進行はユニバーサル野球を熟知した弊社スタッフが現場に伺い、ウグイス嬢も加わりイベント盛り上げます。



コンパクトに
収納



クルマ1台で
移動



約1時間で
設営



大きめの会議室以上の
広さでOK



審判と進行は
お任せください



約1時間で
撤収

開発の歴史

2017年～現在

2017年
4月

スポーツレクリエーション教室にボランティアとして参加。自作で段ボールグラウンドと野球グッズを持参し、野球ゲームを実施。その際に脳性麻痺の野球好きの少年と出会う。



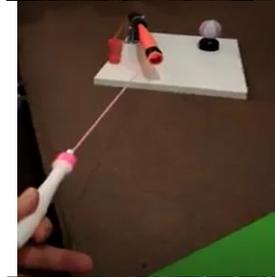
2017年
12月

バッティングマシン
1号機完成



2018年
1月

バッティングマシン
2号機完成



2018年
9月

バッティングマシン
3号機完成



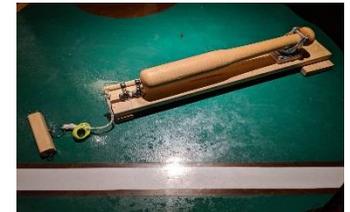
2018年
9月

特別支援学校の子どもたちから「野球がやりたい」「野球大好き」とビデオレターが届く



2019年
2月

バッティングマシン
4号機完成



開発・制作協力

東日本大震災を乗り越え、強化ダンボールで様々なヒット商品を生み出し、多くのニュースメディアに取り上げられている今野梱包株式会社の存在を知り、当社代表の堀江が今野社長（今野梱包）に子どもたちに喜んでもらえる実物大ダンボール電車を依頼したのがきっかけでご縁が繋がりました。

実物大のダンボール電車およびダンボール電車キットなどは制作以降反響が高く、毎年複数の鉄道会社や行政、各イベントなどへ出展しています。

今回のユニバーサル野球の制作においても、企画から制作まで多大なるご協力いただいております。

※今野梱包株式会社の制作するダンボールは米国トライウォール社製。軽量で耐久性も高く、精巧なプリントも可能。



ご活用方法

ユニバーサル野球は教育機関の体験授業から企業イベントなど、様々なジャンルからお声がけをいただき、ワークショップを開催しています。

教育機関

¥140,000～（税別）

- ▶ 小学校・特別支援学校の
体育、道徳、総合的な時間、特別活動
の利用など授業の一環として
- ▶ 中学・高校・大学等
障がい理解に関する授業の一環として

※ご希望によって近隣の特別支援学校とのアレンジをいたします（別途料金）

企業・その他

スポーツイベント・企業レクリエーションなど

¥280,000～（税別）

- ▶ スポーツ関連・地域イベントの一環として
- ▶ 体験型ユニバーサルセミナーとして
- ▶ 社会貢献イベントとして
- ▶ 障がい理解研修の一環として

※ご希望によって障がい者施設とのアレンジをいたします（別途料金）

※ユニバーサルスタジアムは縦5.2m×横5.2mです。設置場所の確認をお願いいたします。

※ユニバーサルスタジアムのみレンタルは行っていません。

※料金にはユニバーサル野球およびユニバーサルスタジアムの用具貸出費用、設営・撤収費、レンタルキャップ費、運営進行費が含まれます。

※準備1時間、プレー時間2時間、撤収1時間の計4時間を想定しておりますが、会場によって異なりますのでご了承下さい。

※首都圏以外の開催の場合、別途交通費・宿泊費が必要になる場合がございます。

※ウグイス嬢の派遣も可能です（別途費用）

※駐車場代・施設使用料・電気代・各種保険については上記料金に含まれません。

※教育機関とは大学・高校・中学校・小学校・幼稚園を指します。（公立私立特別支援学校問わず）

試合開催報告 -2019年3月 小平特別支援学校-



目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに「野球」を楽しんでもらう ・ユニバーサル野球 試験試合
参加人数	100名 (うち障がい者30名)
参加者 内訳	小平特別支援学校生徒・教諭 小平特別支援学校PTA ボランティア20名
スケジュール	9:00-12:00 設営・会場準備 12:30-13:00 集合・開会式 13:00-14:00 試合 14:00-14:30 体験試合 ※旧スタジアムのため設営に時間を要しています
主催	小平特別支援学校PTA
協力	堀江車輛電装株式会社

試合開催報告 -2019年5月 毎日新聞社-



目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル野球を知ってもらう ・ユニバーサル野球バージョン3お披露目
参加人数	86名 (うち障がい者10名)
参加者 内訳	プロ野球球団関係者 国際野球関係者 元野球選手 学校関係者 など
スケジュール	16:00-18:00 設営・会場準備 18:30-19:00 講演 19:30-20:00 試合
主催	毎日新聞社
協力	堀江車輛電装株式会社

試合開催報告 -2019年8月 墨田区-



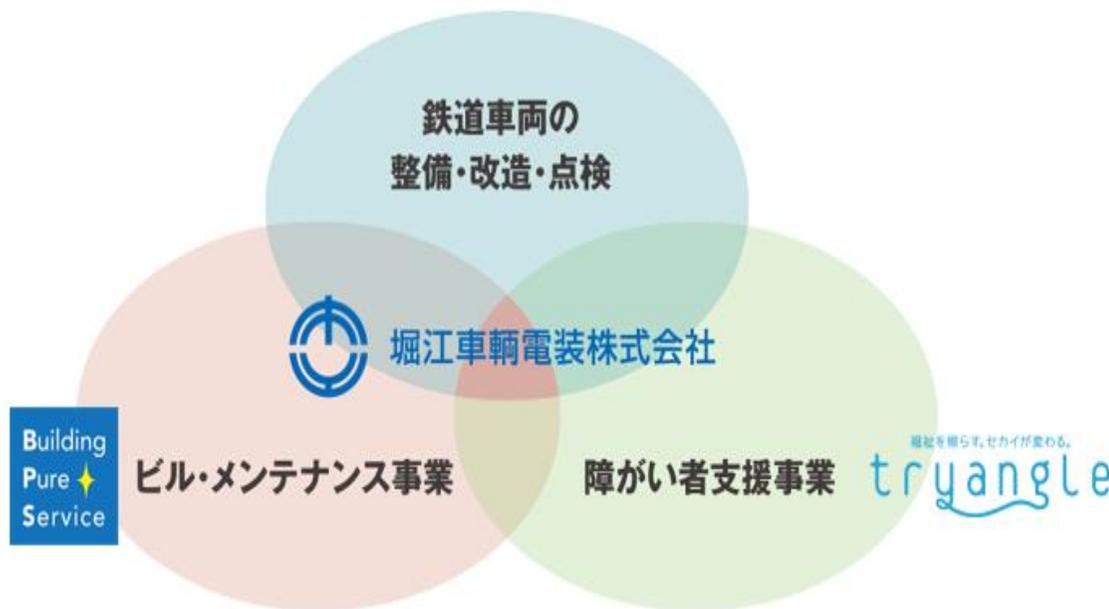
目的	・ユニバーサル野球を体験してもらう
参加人数	36名 (うち障がい者5名)
参加者 内訳	健全者・障害者関係なく 子供たちと家族 企業関係者 など
スケジュール	8:00~10:00 設営 10:00~12:00 試合
主催	堀江車輛電装株式会社
協力	「フロンティアすみだ塾」の 現役生・終了生

掲載メディア一覧

- ・ 2019年9月2日『走れ！ダンボルギーニ！！』（今野秀樹著、方丈社刊）
- ・ 2019年8月28日の墨田区ウェブサイト（産業情報ナビ 職員取材日記内）
- ・ 2019年8月20日のジェイコムデイリーニュース
- ・ 2019年8月20日付の日刊工業新聞（21面:中小企業・地域経済）
- ・ 2019年8月2日、NHKの東京2020パラリンピックサイト内
- ・ 2019年7月29日付の日刊工業新聞（16面）
- ・ 2019年5月31日付毎日新聞朝刊（東京面）
- ・ 2019年5月4日付スポーツ報知新聞（16面）
- ・ 2019年4月2日付東京新聞（夕刊・社会面）
- ・ 2019年3月25日付の北海道新聞（30面）

2019年10月1日現在

堀江車輛電装株式会社は鉄道車両整備業を主軸に、障がい者支援事業やビルメンテナンス事業を展開し、企業理念である、「柔軟な発想と実行力で広く深く社会に貢献する」企業を目指します。



会社名	堀江車輛電装株式会社
設立	1968年6月18日
本社	東京都千代田区九段北1-3-2大橋ビル5階
代表者	堀江 泰
従業員数	61名（2019年6月1日現在）
資本金	10,000,000円
サービス内容	鉄道車両の整備・改造・点検/障がい者支援事業/ビルメンテナンス事業
主要取引先	東急テクノシステム株式会社、西武鉄道株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、三菱地所コミュニティ株式会社など